



霞台小だより

ひばり

No. 679

令和5年4月6日 発行
青梅市立霞台小学校

校長 佐藤 広明

新年度を迎えて

校長 佐藤広明

今年も校庭の桜は、卒業式には満開となり、今日始業式・入学式には、さくらの下がピンクのじゅうたんとなりました。さくらのイメージが年度初めの入学から年度終わりの卒業に移り、季節感の変化を実感しています。

本日霞台小学校は、64名の新入生を迎え、全校児童数358名での新しいスタートとなりました。教職員も記載の通り異動がありました。新しい教職員組織でしっかりと教育活動を進めていきます。

今年のさくらは、3月に入るとつぼみがだんだんと膨らむのが日ごとにわかり、一気につぼみがピンク色になりました。そして、大きくなったと思ったらいつの間にか開花し、あっという間に満開、桜吹雪となりました。

たった数週間の間に、大きな変化を見せ、晴れやかな瞬間を演出してくれたさくらの姿は、子どもたちのこの春休みと重なるものがあります。

子どもたちも、3月の修了式から約2週間で1段ステップを上がりました。今日の始業式の姿は、期待とやる気をもった間違いなく1年の飛躍を感じた姿に見えました。

この節目の時を大切に、平成5年度の教育活動を始めます。ご家庭では、新しいスタートに際し、目標をもたせ、新しい学年でのがんばりを認めてあげていってください。保護者や地域の方々と、子どもを同じ視点で見守り、育てていけるよう、ご支援ご協力のほどよろしくお願いします。

これまで3年間、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、様々な教育活動の制限や中止をしてきました。霞台小学校では、教育活動がもとになる感染は発生せず、ここまで教育活動を続けてこられました。

この4月より国や市のガイドラインを受け、学校でのコロナ対応を変更します。引き続き感染拡大防止の対応として、三密の防止や換気、手洗いは継続しますが、マスクの着用は個人の判断とし、給食も黙食でなく、大声にならない程度のおしゃべりは可とします。詳細については、別紙にてお知らせします。霞台小学校HP

